

研究課題名	化膿性脊椎炎におけるDISHの生命予後における影響
研究の意義・目的	<p>化膿性脊椎炎は脊椎/椎間板/傍脊柱筋/脊柱管における細菌感染であり、症状は発熱/腰痛/神経症状であるが、適切な治療がなされてなお時には生命に影響することもあり、致死率は6%と報告されている。</p> <p>Diffuse Idiopathic skeletal hyperostosis (DISH)は原因は明らかにされていないが、脊柱の前方あるいは側方に骨製架橋が生じる病態である。DISHの骨性架橋椎体により残存可撓椎間に力学的付加が増大する事が特徴である。</p> <p>一方で化膿性脊椎炎の鎮静化には適切な抗生剤治療のみならず、安静あるいは手術により脊柱が安定化することが肝要であると考えられている。したがってDISHによる不安定性により、化膿性脊椎炎の治療を阻害し生命予後に影響する可能性がある。</p> <p>本研究の目的は化膿性脊椎炎におけるDISHの影響を明らかにすることであり、研究結果により今後の手術介入の適応について提唱することができる。</p>
研究期間	2010年1月1日（西暦）～2022年12月31日
研究対象者の範囲	平成22(2010)年1月1日以降に府中病院で化膿性脊椎炎に対して入院治療を行った入院時年齢が20歳以上の患者さまが対象です。
利用又は提供する試料・情報の項目	病状に関する情報を診療録および検査結果から抽出し研究に利用させていただきます。身長、体重、既往歴、併存症、合併症などの背景因子やX線、CT検査などの画像情報や血液検査結果がそれに含まれます。転帰が不明な症例は電話調査を行います。
利用者の範囲	<input checked="" type="checkbox"/> 自施設のみ <input type="checkbox"/> 共同研究機関に試料・情報を提供する <input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受ける <input type="checkbox"/> 自施設が共同研究の代表施設である <input type="checkbox"/> 他施設が共同研究の代表施設である <input checked="" type="checkbox"/> 研究成果を公表する
研究機関の情報	主研究機関：府中病院 整形外科 共同研究機関：なし
代表施設のURL	https://seichokai.jp/fuchu/
研究成果を公表する方法	研究で得られた情報には、あなたの性別、生年月日も含まれますが、カルテ番号、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は含まれません。情報の集計に際してはプライバシー保護のため、個人が特定できない情報に置き換えて対応し、結果を公表する場合も個人名が出ることはありません。研究結果は国内外の脊椎疾患領域を中心とした学術集会や学術誌にて報告します。
試料・情報の提供方法	匿名化されているもの（特定の個人を識別できないもの）を提供する
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	府中病院 整形外科 職名：医長 氏名：山田賢太郎
拒否機会の保障	本研究の対象者の方は、問い合わせ先に連絡することによっていつでも本研究への参加を拒否することができます。また、研究への参加を拒否されても、診療に関する不利益等を受けることは一切ありません。
拒否を受け付ける方法	研究責任者：山田賢太郎 住所：〒594-0076 大阪府和泉市肥子町1丁目10-17 電話：0725-43-1234